

《ゴールボール》カナダ女子チームを応援しましょう！

本番の試合は、次の通りです。

この機会に《ゴールボール》を知り、カナダ女子チームの勝利を信じてテレビの前で応援しましょう。（日本にも、是非ご声援を！）

日程	時間	対戦相手		会場
8月24日（火）	20：00	開会式		国立競技場
8月25日（水）	9：00	カナダ	RPC	幕張メッセ
	13：15	日本	トルコ	〃
8月26日（木）	17：30	カナダ	イスラエル	〃
8月27日（金）	9：00	日本	ブラジル	〃
8月28日（土）	9：00	カナダ	オーストラリア	〃
	13：15	日本	アメリカ	〃
8月29日（日）	9：00	日本	エジプト	〃
8月30日（月）	13：15	カナダ	中国	〃
9月1日（水）	13：15	準々決勝（2試合）		〃
	17：17	準々決勝（2試合）		〃
9月2日（木）	13：15	準決勝（1試合）		〃
	17：15	準決勝（1試合）		〃
9月3日（金）	13：15	3位決定戦		〃
	17：45	決勝戦		〃
9月5日（日）	20：00	閉会式		国立競技場

合宿期間中、以下のとおり**日本チームとの親善試合**を実施することが決定しました。

【カナダ女子 VS 日本女子】

○日時

令和3年8月14日（土曜日） 11時30分～13時30分

令和3年8月15日（日曜日） 15時00分～17時00分

○会場

南区体育館

会場での観戦はできません。試合の様子は、You Tube 動画で配信予定です。

【ゴールボール】競技については、次頁以降をご参照ください。

ゴールボールの解説

【ゴールボールとは】

視覚に障害のある選手が**アイシェード**を着用した状態で、ボールを転がして相手ゴールを狙い、得点を競い合う競技です。**ボール**の中には鈴が入っており、転がすと音が鳴ることが特徴です。選手はボールの中の鈴や相手の動く音を頼りに競技を行うため、試合は静寂の中で行われます。



【歴史】

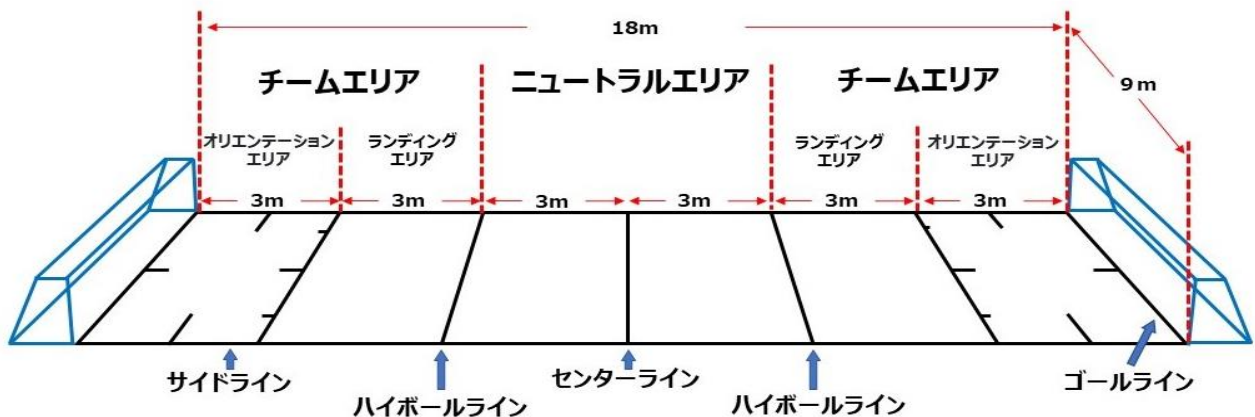
ゴールボール競技は、第二次世界大戦で視覚に傷害を受けた傷痍軍人のリハビリテーションの効果を促進するために考案されたプログラムの一つでしたが、1946年に競技としてオーストリア人により紹介されたのが始まりです。

パラリンピック大会には、1972年にハイデルベルグ大会（当時西ドイツ）で公開競技、**1976年にトロント大会（カナダ）で正式種目**となりました。

日本では1982（昭和57）年に、デンマークのクラウス・ボス氏が来日し、東京都立文京盲学校を会場にゴールボール競技が初めて紹介されました。

【競技ルール】

《コート》



長さ**18m×幅9mの長方形**で、6人制バレーボールコートと同じ広さです。

コートの両端には、ゴールの内側が幅9m、高さ1.3m、50cm以上の奥行きがあるゴールが設置されています。

コートは、3mずつの6つのエリアに分けられます。

両サイドのゴール前から、長さ6m×幅9mがチームエリアと呼ばれ、長さ3m×幅9mの二つに分けられます。

ゴールに接したエリアは、オリエンテーションエリア、ゴールから離れたエリアをランディングエリアと呼びます。コート中央に長さ6m×幅9mの、ニュートラルエリアが設けられ、センターラインによって2分されています。

コート全体のラインは、幅5 cmのテープによってマーキングがされ、テープの下には、太さ3 mmの紐が入っていて、選手はこの凸凹を触ったり踏んだりして位置や方向を把握しています。

《用具》

◎ボール

バスケットボール（直径約24 cm・周囲約75.5 cm）とほぼ同じ大きさ。

◎アイシェード

視力や視野などの障害の程度で差が出ないように、選手は完全にアイシェードで目隠しをして、同じ条件で競技を行います。

さらに、アイシェードの下にはアイパッチを貼って、徹底的に視覚がふさがれます。

試合前や試合中もアイシェードがズレていないか、審判が厳しく確認をしています。

《競技ルール》

1チーム3人ずつで対戦します。

競技時間は、前半後半、各12分で、合計24分です。ハーフタイムは3分間。

同点で前半後半を終了した場合は、前半後半、各3分間（合計6分）の延長戦を行います。

延長戦はゴールデンゴール方式で、どちらかが得点を決めたところで終了します。

延長戦でも勝敗が決まらない場合は、サッカーのPK戦に似た1対1で投げ合う、エクストラスローをベンチに入っている選手で行います。

《世界ランキング》 2020年6月時点

1位：トルコ、2位：中国、3位：ブラジル、4位：アメリカ、5位：日本、6位：カナダ、7位：ロシア、8位：イスラエル、9位：ウクライナ、10位：オーストラリア！



（出典：一般社団法人日本ゴールボール協会ホームページ）